

利根町小学校統合に関する意見交換会（概要）

1. 日 時 令和2年7月12日（日）午前10時00分～10時58分

2. 場 所 文間小学校 体育館

3. 出席者

（1）町民等参加者 25名

（2）利根町教育委員会

教 育 長	海老澤 勤	教 育 委 員	石井 豊
学校教育課長	青木 正道	指 導 室 長	池田 恭
課 長 補 佐	河村 明	課 長 補 佐	宮本 正裕
課 長 補 佐	布袋 哲朗	主 任	吉田 慎太郎

4. 次 第

（1）開 会

（2）教育長挨拶

（3）意見交換

ア 利根町小学校統合基本方針説明

イ 質疑・応答等

ウ その他

（4）閉 会

5. 議 事

1. 開 会

○事務局 ただいまより、利根町小学校統合意見交換会を開会いたします。

2. 教育長挨拶

○教育長 おはようございます。日曜の休日にも関わらず、ご参加いただきありがとうございます。教育長の海老澤と申します。

現在、利根町では少子化に伴い、町内小学校3校を1校に統合する計画を進めております。これは、少子化による児童数減少により発生するであろう様々な課題に対応するために適正規模の学

校づくりを進めていこうとするものでございます。

利根町では、2年前の平成30年1月に「利根町小中学校適正配置等調査検討委員会」を立ち上げまして、9回の話し合いをし、その年の10月に委員会の答申をいただきました。その答申では、令和5年度4月を目途に、町内小学校3校を布川小学校に統合するとしての基本方針を提言していただきました。

教育委員会では、その後、アンケートを実施して、675名から返答をいただき、その結果をまとめてございます。また、複数回の教育委員会、町長部局との協議の場である総合教育会議という会議がございますが、これを複数回開催し、さらに、約1か月間のパブリックコメントで皆様のご意見を募集して参りまして、小学校統合基本方針の修正を行っております。また、町の議員さん全参加による説明会もございました。

このように、アンケート結果、パブリックコメント、総合教育会議などの経緯から、ほぼ検討委員会答申を尊重するに至った次第です。

その後、令和2年3月に「小学校統合基本方針」がまとめられ、公表するに至った次第であります。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止ということで、2か月ほど予定がずれて、今日、統合に関する意見交換会を始めることができました。今後、各小学校区において、保護者さん、地域の方々にご理解をいただき、これからの小学校統合計画を進めていきたいということで、この会を設けさせていただきました。

学校の存在は、子ども達、保護者だけの問題ではなく、地域全体での大きな問題でもございます。是非、関心を持っていただいて、保護者、住民の方々の意見をできる限り取り入れられればと考えております。説明の後、質疑の時間もございます。忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

3. 出席者紹介

○事務局　　ここで、本日出席しています教育委員及び町職員を紹介します。
（教育委員及び町職員の紹介あり）

4. 基本方針説明

○事務局 本日の議事では、まず「利根町小学校統合基本方針」をご説明いたします。説明後に質疑・応答、また意見交換を行います。統合校となる小学校施設がより良い学校環境を確保できるよう、ご参加の保護者の皆様、地域の皆様からご意見等を広く収集することで、統合に向けての課題を把握し、整備充実を図ってまいりたいと考えております。

それではこれより、次第3、意見交換等に入ります。

(事務局より「小学校統合基本方針」について説明あり)

5. 質疑・応答及び意見交換

○事務局 説明が終わりました、ただいまの利根町小学校統合基本方針の説明、また、この他ご質問等がある方は挙手でお願いいたします。(主な質問と回答及び意見に絞り掲載、また、類似の質問は集約して掲載。)

○参加者 統合した場合、スクールバスの台数は何台ぐらい出て、どれぐらいで学校に到着するのか、基本的な計画はできているのか。

○事務局 スクールバスについては、今後、統合準備委員会というものを設置して、その中で具体的な台数や運行ルートなどについて検討することになりますが、統合検討委員会の中では、大型バスであれば6台、小型であれば15台程度という試算をしております。

○参加者 現在、東文間地区からスクールバスで子どもを通わせているが、統合してそのような多台数でスクールバスを運行しなければならないほど、学校を統合しなければならないのか。今慌てて統合する必要があるのか。文小学校の児童数が少ないことを理由に統合とのことだが、文小学校の児童を2つの小学校に分散させるなどできないのか。

さらに、統合した場合、廃校となった校舎の活用をどう考えているのか。旧東文間小学校はいまだ何も活用されておらず、文間小も同じようになってしまっているのではないのか。

○事務局 3校を1校に統合するのはまだ早いのではないか、というご意見でございます。3校を1校に統合することについてアンケートをとると、最も多い意見がやむを得ないという意見でした。そのような意見が多い中で、何が最も大事かを教育委員会、または検

討委員会が答申の中に託したかといいますと、やはり子どもの安全・安心ということだと思えます。というのは、文小学校は、近い将来に2学年の子ども達が1学級の中で生活せざるを得ないという状況が見えております。さらに、ほかの小学校においても大半の学級が単学級となることが予想されます。

子どもの居場所を考えたときに、友達同士の仲が悪くなったり、いじめにあつてしまったり、何らかの理由でクラスに居づらくなつてしまつた時に、学年に2学級、あるいは3学級あれば、緊急避難的なクラス替え等の措置が行えるようになります。

廃校後の校舎の利活用につきましては、町長部局と話し合いながら、今後の活用について検討を進めてまいりたいと考えております。旧東文間小学校につきましても、現在も引き続きその活用方法について検討しているところでございます。

○参加者 文小学校を他の2校に分散させるという話がなぜなくなつてしまつたのか、その理由は。また、実際に布川小学校に統合した場合、教室数については足りるのか。

○事務局 3校を2校に統合するという話は、検討委員会でも当然議論になりました。試算によりますと、文小学校が複式学級になると想定しているのが令和6年度でございますが、では実際に2校に統合した際に、1学級あたりの児童数が何人程度になるかという試算を出しますと、もし2校に統合した場合でも、ほとんどの学級が単学級となつてしまいますので、またすぐ近い未来に複式学級が発生してしまうことが想定されます。そうであれば、ひとつの学校に統合して、適正な規模、クラス替えのできる複数学級にできるということで、1校に統合することが望ましいという結論、答申に至つたということでございます。

教室数が足りるのかという点につきましても、検討委員会の方で議論を行いました。

検討委員会では、まず利根町の小学校の適正規模について議論を行い、そもそも統合する必要があるのか、というゼロから議論がスタートいたしました。その中で統合することについては必要があるということで、次にどの小学校に統合することが望ましいかという検討に入りました。それぞれの小学校について、教育環境の面、規模的な面、予算的な面などそれぞれの検討課題についてメリットとデメリットを出し、総合的に検討した結果、布川小

学校への統合というかたちになったのですが、布川小学校につきましては一部、普通教室への改修を予定しておりますが、教室数は足りるということで考えております。

令和5年に統合した場合、1年生から4年生までは2学級、5、6年生が3学級の全14学級という試算になっております。現在の布川小学校の規模が15学級ということで、教室数は足りると考えております。

また、現在はコロナ禍という状況でございますけれども、現在の適正な1学級数あたりの児童数は40人（1、2学年は35人）となっておりますが、これが国の方で、仮に1学級あたりの人数を20人にするといったような方針が出るような場合には、現在進めている計画も変更する可能性はございますけれども、現在のところクラス数は足りているということでございます。

○参加者 登下校時などに災害が発生した場合、子どもの引き渡しなどの安全性は確保されているのか。

○事務局 現在、九州では大きな災害が起こっています。昨年、利根川の押付新田観測所において最も水位が上がったのが、7メートル59センチでした。警戒レベル4相当の水位、避難判断水位というのが7メートル70センチとなっておりますので、昨年の水位をあと11センチ超すと、利根町は全員避難の指示が出たところでございます。また、過去10年間で警戒レベル3相当超えたことが3回ございました。九州では毎年のように警戒レベル5相当の豪雨に見舞われております。利根川については幸いにして警戒レベル4を超えることはありませんでしたが、異常気象などにより、超えることもあるかもしれません。

川の水位というものは、上流から徐々上がってきます。また、各観測所の水位というものは10分おきに公開されており、常に監視することができますので、これを注視しながら、早め早めの子ども達の避難を考えております。

また、周辺道路につきまして、現在はニュータウンからの一本道というような状況でございますが、町としても、道路の整備を予定しております。小学校から四季の丘に伸びている道を拡幅したり、学校の西側の農道も舗装を予定しております。さらに、プールの奥側に駐車場を整備する予定ですので、3校が1校になったとしても、保護者の方の引き渡し等においても、駐車スペー

スは確保できると考えております。

- 参加者 統合を検討した際の比較のデータ等が本日の資料には無いが、そのような資料は随時いただけるのか。
- 事務局 これまでに検討した資料等につきましては、利根町教育委員会のホームページに掲載してございます。ご要望があれば、住民の方や保護者の方向けに具体的に検討した結果や資料などをご用意させていただきたいと考えております。
- 参加者 河内町やつくば市では義務教育学校というものができていると思うが、利根町はなぜ小学校の統合にとどまったのか。
- 事務局 調査検討委員会では、利根町の将来を見据えた学校づくりということで検討をお願いしたところでございます。その中で、義務教育学校というものが制度的にまだできて間もないという点で、小中学校を統合して良いのかどうかという判断がつかなかったということがございます。中学校については統合して1校となっているということで、まずは小学校の適正な規模を目指すということで、小学校統合を進めるということになりました。
- 参加者 児童クラブの新設については検討していただきたいと考えている。
- 事務局 児童クラブについては、現在各小学校に設置されておりますが、布川小学校に新設するという案も出ておりますが、布川小学校に統合すると、文間地区や文地区の保護者の方は布川まで迎えに来なければならないという点もございます。現在存在する児童クラブをそのまま活かし、スクールバスで児童を各児童クラブに送り、保護者はそこに迎えに行くという方法も検討しております。
- 参加者 利根町は、児童クラブは子育て支援課、小学校は教育委員会ということで分かれており、連携がとれていないように感じる。取手市などは児童クラブも教育委員会が担っており、利根町についても連携がしっかりとれる体制を検討していただきたい。(意見)

6. 閉 会

○事務局 本日はお忙しい中、皆様にご出席いただき、貴重なご意見を伺うことができました。お寄せいただいたご意見、ご要望、ご提言は、今後の統合準備委員会等での課題として整理しながら、協議をしていきたいと思えます。また、今後も皆様のご協力のもと、より良い統合に向けて準備してまいります。(10時58分)